

国土技術政策総合研究所コンプライアンス・アドバイザー委員会 議事概要
(令和7年度 第2回)

○開催日時 : 令和8年2月18日(水) 15時10分～16時00分

○開催場所 : 三田共用会議所

○出席委員

委員長	義経 百合子	弁護士
委員	石倉 毅典	公認会計士
委員	長井 宏平	北海道大学大学院 教授
委員	森本 章倫	早稲田大学 教授

(委員は五十音順)

○議事概要

(1) 令和7年度国土技術政策総合研究所コンプライアンス推進計画実施状況(中間報告)について

【主な意見、質問及び回答】

- 発注者綱紀保持の理解度向上に向けた取組において、e-ラーニングの回答率が90%とあるが、全職員のうち実際に受講した割合なのか。
→ 全職員の受講を目指し周知を繰り返したが、実際に受講した者は9割であった。
- e-ラーニングの正答率が平均で51.5%とあるが、この正答率になったと考えられる要因はあるのか。容易に正解できる問題を作成するよりも、少し難易度が高い方が研修素材としては望ましいと思うが。
→ 新たな取組として発注者綱紀等に関するアンケート調査を実施したが、意見の中には、当該e-ラーニングの設問はひっかけ問題が多いとの意見もあったところ。設問については、今後も工夫して行きたい。
- 更なるコンプライアンス意識向上に向けた取組内容の検討に評価・検証・改善等とあるが、改善等で具体例があれば教えていただきたい。
→ 発注者綱紀等に関するアンケート調査では、コンプライアンス講習会等で実際に起こった不祥事などを取り上げて欲しい等の意見があったところ。これらの今回集まった意見を参考に検討を進めていきたい。

【総評】

- 前回の委員会において、職員側はなかなか改善点が見えにくいものであり、職員からの意見を積み上げていくには、講習会や研修等を行った際にアンケート調査の

実施が望ましいとしていたところだが、結果として実施していただき見直しする材料などが出ているように思う。今後も意見内容を検討しつつ、継続的に進めるようにしてください。

(2) 令和8年度国土技術政策総合研究所コンプライアンス推進計画（案）について

【総評】

- 研修内容の改善点などを踏まえ、取組を検討されているように思うが、見直したことや改善されたことが少しでもわかるよう、来年度の推進計画に入れておく方がよいように思う。適宜検討いただきたい。
- それぞれの項目において、取り入れた方がいいものがあれば都度検討しており、今後も検討していく。